

キャンペーンツールキット

2023年 世界湿地の日



世界湿地の日

2023年2月2日

今こそ湿地を再生する時



意識的な選択

説得力のある意見

大胆な行動

#GenerationRestoration

#ForWetlands

www.worldwetlandsday.org

世界湿地の日

「世界湿地の日」とは？

「世界湿地の日」は、湿地の価値に光を当てるため、毎年2月2日に行われる世界的な普及啓発キャンペーンです。2月2日は、1971年に採択されたラムサール条約の記念日であり、現在、172カ国が条約に加盟しています。

湿地とは？



湿地とは、永続的に水で満たされている場所や季節的に浸水する場所のことであり、沼沢地、泥炭地、湖沼、河川、氾濫原、低湿地などを含みます。また沿岸域の湿地には、塩性湿地、河口域、マングローブ、潟、サンゴ礁などが含まれます。養殖池、水田、塩田などは人工湿地です。

湿地の普及啓発に関する記念日がなぜ必要なのか？

湿地は、水のろ過や供給、嵐や洪水からの保護、生物多様性の維持、炭素の貯蔵など、人間にとって不可欠な生態系サービスを提供しています。1970年以降、湿地の35%以上が劣化または消失し、減少速度は加速しています。「世界湿地の日」は、湿地が人類と地球のために果たしている多様な役割に対する認識を高め、湿地の保全、ワイズユース（賢明な利用）、再生につながる行動を促すことを目的としています。

「世界湿地の日」は誰が企画するのか？

「世界湿地の日」の企画者はラムサール条約事務局です。ラムサール条約の締約国は、1997年から各地で「世界湿地の日」を祝っています。



国連が定める記念日

2021年、国連総会は2月2日を国連の定める「世界湿地の日」と決定し、国連加盟国193カ国、オブザーバー機関、ステークホルダーなどに参加を呼びかけています。



2023年のテーマ：湿地の再生

今年のテーマは、湿地を再生していくことは急務であるとし、世代を超えた全ての人びとが劣化した湿地の再生や復元に取り組んでいくことを呼びかけています。

1970年以降、世界の湿地の35%以上が劣化または消失し、その消失速度は森林の3倍の速さにも及びます。このような減少傾向を止め、回復させること（逆転させること）がとても重要です。

2023年のテーマは、「国連生態系回復のための10年」が提唱する取り組みを土台とし、それに貢献するものです。2021年から2030年にかけて実施されるこの世界的なイニシアティブは、世界規模の生態系回復の取り組みをリードし、さまざまなアイデア（インスピレーション）を与えます。

デザインのコンセプト： 波及効果

どのような活動でも効果がある
小さな活動でも波紋となって広がるきっかけになる

一本のマングローブを植林し積極的に湿地の再生に取り組んでいる人、そして更なる湿地の再生に波及していくという思いがこのデザインに込められています。外に向かって広がる波紋は、アイデアの広がり、ひとつの決断がもたらす大きな影響を表現しています。ポスターのキャッチフレーズ「今こそ湿地を再生する時」は、みなさんへのメッセージです。



今こそ湿地を 再生する時

伝えたいこと



今こそ湿地を再生する時

湿地は、人類に比類なき恩恵をもたらしてくれますが、過去50年間に世界の湿地の35%以上が消失しました。私たちはこの損失と劣化を止めなければなりません。

7つの優良事例

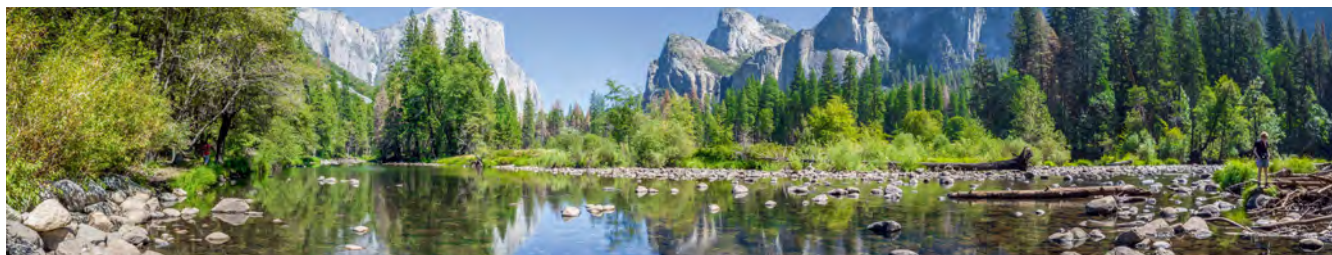
- 限定的な利益にこだわらず、自然の湿地がもたらすさまざまな生態系サービスの恩恵を複合的に再生することを目指す。
- 湿地生態系が自然に再生できる状態を目指す。
- 湿地再生の計画づくりや実施段階で地元住民や地域産業の関係者を巻き込む。
- 湿地の劣化要因を特定し、制御または除去する。
- 劣化した湿地を清掃する。
- 在来動植物を回復させ、外来生物を除去する。
- 野生生物が安心して暮らせる場所や人びとが利用できる場所を区分する。

7つの恩恵

- 生物多様性の回復
- ろ過水の供給と補給
- 洪水や嵐に対する保護機能の強化
- 地域の持続的な暮らしの強化と飢餓の削減
- 観光やレジャーの高品質化
- 炭素貯蔵能の向上と排出削減
- 変革の達成感や満足感の向上

7つの重要な関係者

- **次世代の環境起業家および活動家：**
湿地再生を支持する熱意のある個人
- **行政機関：**
多様な関係者から情報を集め、関係を構築しながら湿地再生プロジェクトをリードする地方公共団体や国の行政機関
- **資金提供者：**
資金面から湿地再生プロジェクトを支える政府、金融機関、財団、投資家
- **地域社会のリーダー：**
地元住民にとって重要な生態系サービスを理解する地域社会を代表する人びと
- **民間企業：**
湿地の恵みを利用してビジネスを行う企業や起業家
- **教育関係者：**
普及啓発や教育に関わる教員関係者
- **研究者や専門家：**
専門知識を提供し、技術指導などを通じて、湿地の再生を革新的に推進する専門家



「世界湿地の日」のキャンペーンに参加するには

意識的な選択

湿地の劣化や消失になるべく影響を与えないよう、日々の暮らしを意識したり、湿地の危機的な現状を伝える

- **湿地について理解を深める。**人や地球に対する湿地の重要性や、私たちの生活を通じて引き起こされる水質汚染および外来生物が湿地に悪影響を与えている事実を知る。
- **水環境や湿地にやさしい生態系に配慮した暮らしを選ぶ。**節水や環境負荷の少ない食生活を心掛け、有害な成分を水に流したり、ゴミや廃棄物を湿地に捨てないようにする。
- **湿地再生に貢献する暮らしを宣言してみる。**湿地の再生を意識した暮らしやその行動を声高らかに公言する。

説得力のある意見

湿地再生に取り組む人びとを支援し元気づける

- 地元の湿地の再生や保護について提言を行うなど、**意欲的に働きかける。**
- **湿地への関心を高め、湿地再生の緊急性を知らせるためにSNSを活用する。**
#GenerationRestoration #ForWetlands #WorldWetlandsDay のハッシュタグを付けて、Twitter、Instagram、FacebookなどのSNSで「世界湿地の日」をアピールする。
- **湿地に赴き、再生が必要な場所を見してみる。**ラムサール条約登録湿地を含め、湿地はあらゆる所に存在する。ラムサール条約登録湿地のリスト (<https://rsis Ramsar.org/>) を片手に、現場を見ながら湿地の役割や劣化の状況について考えてみる。
- **湿地の再生を支援するためのイベントを開く。**教育的なイベントは、地域において湿地の再生について理解を得るために有用である。専門家や湿地とともに暮らしている地元の人びとを招いて、湿地の再生の重要性をアピールする。
- **湿地に関するドキュメンタリー番組を上映する。**湿地のドキュメンタリー番組の上映は、湿地の生態系サービスを深く理解するために役立つ。

大胆な行動

自分自身の力で変化を起こし、さまざまなスケールで湿地の再生を支援する

- **政策提言を行う。**地元の湿地を保護し再生するために、地方自治体や国などの行政機関に働きかける。
- **公式な湿地清掃の日のイベントを開催するまたは参加する。**自然に対して敬意を払い、直ちに行動することが重要である。
- **地元の湿地再生プロジェクトに参加する。**地元住民のニーズが反映されるように意見を述べ、湿地の再生に役立てる。
- **「世界湿地の日」のイベント専用ウェブサイトへの登録や検索を行う。**ラムサール条約事務局の「世界湿地の日」イベント専用ウェブサイトでは、世界中の開催イベントを見ることができる。
<https://www.worldwetlandsday.org/events>
- **自慢の写真を「湿地再生フォトギャラリー」で共有する。**「湿地再生フォトギャラリー」では、世界各地で行われている活動の様子を紹介し、湿地の再生を促進することを目指している。
<https://www.worldwetlandsday.org/photo-gallery>
- **湿地再生を優先して行う国家目標を設定する。**国家目標を公表することで、国内および国際的な行動と公約を促すことができる。自国の国家目標を条約事務局などと共有する。

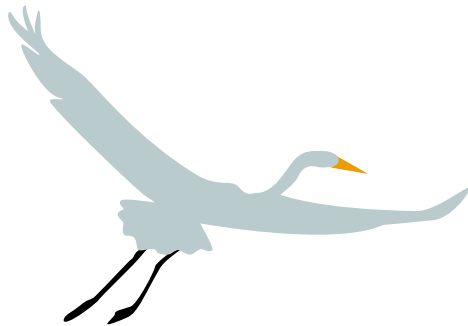


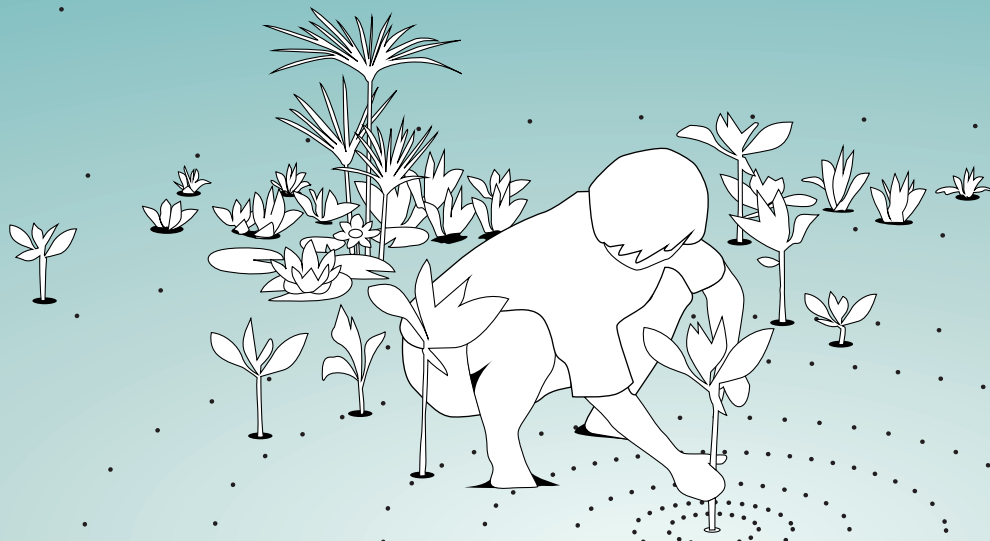
次世代の教育

「世界湿地の日」をきっかけに湿地の恩恵や湿地再生の複雑さを考え、みんなで何ができるか話し合う機会を持つよう学校に働きかける

- 湿地がなぜ貴重な天然資源なのか、湿地の再生がどのような恩恵をもたらすのかなどについて、生徒に調べてもらい説明してもらう。
- 人間の活動が湿地環境の脅威になっている現状や、湿地の劣化や消失を止め回復させるためにできることを議論し、どのような人びとが実際に現場レベルで湿地再生を実現できるのかを話し合う。
- 地球規模で湿地が私たちの暮らしにどのように貢献しているのか、若者に考えてもらう。
- 地元の湿地を訪れ、地域の人びとや世界全体にどのような恩恵をもたらしているのか、子どもたちに考えてもらう。
- 子どもたちを対象とした塗り絵*コンテストを開催し、作品への想いや湿地の再生活動について語ってもらう。

*次のページに塗り絵のテンプレートが付録されています。





今こそ湿地を 再生する時

#GenerationRestoration – #ForWetlands – www.worldwetlandsday.org

世界湿地の日
2023年2月2日



